

地域別の概況

JICAは約150の開発途上国や地域で活動しています。

開発途上国といっても国・地域ごとの状況、開発課題は大きく異なります。

各国・地域の多様な事情・ニーズを分析し、日本政府の政策・公約やJICAの持つ協力形態・事業規模を踏まえ、「人間の安全保障」や「質の高い成長」の実現に向けたプログラムを戦略的に形成し、事業を実施しています。



地域別事業規模 (2021年度)

アフリカ
協力実施国
49カ国
事業規模
1,001億円

中東・欧州
協力実施国・地域
22カ国・地域
事業規模
1,371億円

南アジア
協力実施国
8カ国
事業規模
6,804億円

アフリカ、中東・欧州、東南アジア・大洋州の写真：久野真一
東・中央アジアおよびコーカサスの写真：鈴木 革



(注1) JICAの事業規模とは、2021年度における技術協力(研修員+専門家+調査団+機材供与+青年海外協力隊/海外協力隊+その他海外協力隊+その他経費)、有償資金協力(承諾額)、無償資金協力(新規G/A締結額)の総額。

(注2) 複数国・地域にまたがるもの、および国際機関に対する協力実績を除く。

東・中央アジア およびコーカサス

協力実施国

10カ国

事業規模

427億円

東南アジア・大洋州

協力実施国

21カ国

事業規模

3,610億円

中南米・カリブ

協力実施国

29カ国

事業規模

1,222億円